

## 2025 年度 国際交流支援室 事業報告

劉靖・閆琬新

東北大学大学院教育学研究科

### 1. 国際交流支援室

本年度のスタッフは、先端教育研究実践センター長（教授）、国際交流支援室長（劉靖准教授）、室員（劉靖准教授、閆琬新助教）である。

### 2. 今年度の活動（2026 年 2 月現在）

#### (1) 会議

①文系四研究科共通国際交流オアシス事業実施委員会（1 回/年：甲斐健人教授、閆琬新助教出席）

②全学国際交流委員会（開催なし）

#### (2) 部局間学術交流協定および大学間学術交流協定の維持管理

本年度は、部局間学術交流協定 1 件（チュラロンコン大学教育学部）の新規締結および 3 件（南京師範大学教育科学学院、天津大学教育学院、国立台湾師範大学教育学院）の更新を行った。また、ノッティンガム・トレント大学社会科学研究科および山東大学国際教育学院との部局間学術交流協定に関する交渉を進めた。

#### (3) 学術交流協定に基づく交換留学生の派遣と受入れ

国立台湾師範大学へ交換留学する学生 1 名を派遣した（期間：2025 年 2 月 10 日～2025 年 6 月 20 日）。

#### (4) 外国人留学生の支援

学生の留学生生活をより充実させるため、国際交流支援室は新入留学生向けオリエンテーションを実施した。また、キャリア支援センターのスタッフと連携し、在籍する留学生に対して進路・進学に関する個別相談を行った。

#### (5) 国際シンポジウム、講演会

①2025 年 10 月 17 日

国際学術シンポジウム（参加人数：132 人）

「International Educational Development Towards and Beyond 2030: Whose Agendas, and What Goals and Approaches?」

基調講演者:

Dr. Mark Bray (University of Hong Kong)

Dr. Iveta Silova (Arizona State University)

パネルディスカッション登壇者：

Dr. Yuto Kitamura (The University of Tokyo)

Dr. Sung-Sang Yoo (Seoul National University)

Dr. Mikiko Nishimura (International Christian University)

Dr. Will Brehm (University of Canberra)

本シンポジウムでは、これまでの国際教育開発の経験を振り返るとともに、持続可能な開発のための 2030 アジェンダに沿った現在の取り組みを検討した。また、既存の枠組みの限界を批判的に議論し、ポスト 2030 時代に向けた教育の役割や新たな視点・革新的アプローチを共有した。

②2026 年 3 月 12 日

国際学術ワークショップ：

「 Building Disaster Culture through Education for Sustainable Futures: Interdisciplinarity, Higher Education, Communities, and Resilience」

基調講演者

Dr. Rina Suryani Oktari (University Syiah Kuala)

Dr. Rika Yorozu (UNESCO Bangkok)

パネルディスカッション登壇者：

Dr. Greg Misiaszek (Tohoku University)

Dr. Rina Suryani Oktari (University Syiah Kuala)

Dr. Rika Yorozu (UNESCO Bangkok)

Dr. Weiyan Xiong (The Education University of Hong Kong)

Dr. Masashige Motoe (Tohoku University)

Dr. Jing Liu (Tohoku University)

本ワークショップの全体的な目的は、学際的かつパートナーシップに基づくアプローチを通じて、生涯にわたる教育を通じて災害文化をいかに構築し維持できるかを探求することであり、特に高等教育と地域社会に焦点を当てる。

③TU-EDU Talks 2025 シーリーズ

第 1 回:2025 年 5 月 16 日

講師：Dr. Greg Misiaszek (Beijing Normal University)

Topic: Ecopedagogy and Literacy: Theories, Research, and Teaching Practices for Justice,

## Peace, and Sustainability

第 2 回：2025 年 6 月 25 日

講師：Dr. Xin Xiang (Beijing Normal University)

Topic: UNEQUAL LEARNING Education and Society in Contemporary China

第 3 回：2025 年 7 月 25 日

講師：Dr. Clifford Stevenson (Nottingham Trent University)

Topic: Social Identity, Collective Connectedness and Loneliness: When is loneliness a collective problem?

第 4 回：2025 年 8 月 28 日

講師：Dr. Philip Wing Keung Chan (Monash University)

Topic: Islands of Innovation: The Future of Technology and AI Education in the Pacific

第 5 回：2025 年 9 月 26 日

講師：Dr. Ann M. Ishimaru (University of Washington)

Topic: Doing the Work of Equity Leadership for Justice and Systems Change

第 6 回：2025 年 10 月 8 日

講師：Dr. Thomas K.F. Chiu (The Chinese University of Hong Kong)

Topic: How does AI CRAFT education? What can we do?

第 7 回：2026 年 2 月 2 日

講師：Dr. Silvia W.-Y. Lee (National Taiwan Normal University)

Topic: From Models to Meaning: Understanding PLS-SEM in Educational Research Through EdTech Examples

第 8 回：2026 年 2 月 12 日

講師：Dr. Chen-Wei Chang (National Taiwan Normal University)

Topic: From Individual Action to Collective Hope: Youth Global Citizenship and World Solidarity in an Uncertain Future

### (6) 海外大学との交流訪問

- 2025 年 5 月 12 日から 16 日まで、台湾政治大学教育学院の教員 1 名と大学院生 9 名が

本研究科を訪問し、本研究科グローバル共生教育論コースの学生たちとの交流を行った。その他、中浜小学校震災遺構を見学し、仙台市内の宮城第一高校の学生たちとの国際交流活動も開催した。

- 2025年8月22日から9月2日まで、本研究科の「グローバル教育論」の現地調査のため、大学院生6名と教員1名がタイのチェンマイ大学を訪問し、現地調査を行った。
- 2025年9月21日から29日まで、2025年度海外教育演習の一環として、教育学部学部生15名と教員1名が南京師範大学、清華大学教育研究院、北京師範大学教育学部を訪問し、学生交流を行った。北京滞在中 UNESCO 東アジア地域事務所も訪問した。
- 2025年8月4日、台湾国立陽明交通大学の招待により、小嶋秀樹教授および閩琬新助教が基調講演を行った。さらに、8月4日から7日にかけて台湾国立教育研究院、国立台湾師範大学、国立政治大学を訪問し、今後の学術交流および協働の可能性について意見交換を行った。
- 2025年10月3日ウェスタン大学副学長（研究担当）ペニー・ベックスマン教授が教育大学院を訪問された。会議では、劉靖准教授とローレン・ナカサト助教授が本研究科の国際化推進策を紹介し、伊藤文人講師が自身の研究プロジェクトを説明した上でベックスマン教授と意見交換を行い、参加者らは両機関間の今後の協力可能性についても意見交換を行った。
- 東北大学－清華大学共同研究プロジェクトの一環として、2025年12月3日から5日まで清華大学の教育研究院と美術学院の大学院生の学生3名が東北大学を訪問した。訪問中、教育学研究科グローバル共生教育論コースの学生たちとの交流を行い、災害に関する講演を行った。
- 2025年12月21日から22日にかけて、台湾国立陽明交通大学より教員5名、スタッフ1名、学生6名が東北大学大学院教育学研究科を訪問した。滞在中には「東北大学×国立陽明交通大学 国際学生研究大会」を開催し、同大学の学生6名、本研究科の学生9名が研究発表を行った。あわせて、小嶋研究科長による研究科紹介が行われたほか、両大学の教員間で研究内容に関する意見交換を実施し、今後の連携および共同研究の可能性について協議した。
- 2026年2月1日タイのチュラロンコン大学教育学部長の Dr. Yotsawee Saifah 先生が本研究を訪問し、小嶋研究科長と一緒に、両機関の学術交流協定の締結にサインをした。
- 2026年2月9日日本研究科教員2名と大学院生3名が香港教育大学を訪問し、現地の学生と研究者との学術交流を行い、両機関の更なる交流の可能性について、意見交換を行った。
- 2026年2月27日から3月8日まで、本学部の「国際教育開発演習」科目の現地調査の一環として、本学部・大学院の学生11名と教員2名がタイのチュラロンコン大学教

育学部を訪問し、学生交流を行った。また滞在中、UNESCO バンコク事務所を訪問した。

(7) 国際交流支援室のウェブサイトの運用

教育学部・教育学研究科の国際交流に関する情報をより広く周知するため、2021年3月より国際交流支援室のウェブサイトの運用を開始した。現時点では、主に AEL Course、国際シンポジウム、日本語学習支援事業、留学生の受け入れ、部局間学術交流協定などの情報を掲載している。